

第5回 巨大津波災害に関する合同研究集会

日時：2015年12月4日(金) 10:30~18:45, 12月5日(土) 9:00~12:35

場所：東京大学地震研究所1号館2階 セミナー室

懇親会：2015年12月4日 19:00~21:00

会場：東京大学地震研究所1号館2階 ラウンジ 会費 一般5,000円, 学生2,000円

発表時間・方法：15分(講演10分, 質疑5分, 各自PC持参のこと)

2015年12月4日(金)

開会挨拶(10:30~10:35) 東京大学地震研究所 佐竹健治

第1セッション(10:35~12:05) 司会：山下啓(東北大学)

10:35 ~ 10:50 東北地方太平洋沖地震によって発生した地磁気変動
金谷 辰耶(東京学芸大学)

10:50 ~ 11:05 津波電離圏ホール検知による早期津波予測の可能性
鴨川 仁(東京学芸大学)

11:05 ~ 11:20 南海トラフ巨大地震下の岡山市沿岸部における津波挙動に潮汐が及ぼす影響
の検討
工代 健太(岡山大学大学院 環境生命科学研究科)

11:20 ~ 11:35 地殻変位データを用いた津波波源インバージョンと精度評価 -新潟地震断
層モデルの再検討と大気重力波の利用-
泉宮 尊司(新潟大学工学部建設学科)

11:35 ~ 11:50 巨大地震による地震波・津波・海洋音響波の励起：S-net記録の理論合成
齊藤 竜彦(防災科学技術研究所)

11:50 ~ 12:05 確率津波モデルを用いた巨大地震津波の不確実性評価
安田 誠宏(京都大学防災研究所)

休憩(12:05~13:00)

第2セッション(13:00~14:15) 司会：嶋原良典(防衛大学校)

13:00 ~ 13:15 複数の造波手法を有する津波再現水槽によるベンチマーク実験
森 信人(京都大学防災研究所)

13:15 ~ 13:30 大型造波水路を用いた津波堆積物の再現実験
吉井 匠(電力中央研究所 環境科学研究所)

13:30 ~ 13:45 津波により漂流する船舶群の水理実験と数値計算に関する研究
ホ ソン(防衛大学校建設環境工学科)

13:45 ~ 14:00 超大型浮体構造物の津波高さ低減効果
柿沼 太郎(鹿児島大学)

14:00 ~ 14:15 南海トラフ地震津波による海洋環境の被害評価
中田 聡史(神戸大学大学院海事科学研究科 津波マリンハザード研究講座)

休憩(14:15~14:30)

第3セッション (14:30~15:45) 司会：サッパシー アナワット (東北大学)

- 14:30 ~ 14:45 Nankai trough earthquake tsunamis in Korea
KIM SatByul (Pukyong National University in Korea)
- 14:45 ~ 15:00 Sediment transport modeling of multiple grain sizes in V-shaped valley of Numanohama during the 2011 Tohoku tsunami
Aditya Riadi Gusman (東京大学地震研究所)
- 15:00 ~ 15:15 Source model of the 16 September 2015 Illapel (Chile) tsunami
Mohammad HEIDARZADEH (東京大学地震研究所)
- 15:15 ~ 15:30 Multi-time-window inversion for sea surface displacement of the 2011 Tohoku tsunami
講演者：何 東政 (東京大学地震研究所)
- 15:30 ~ 15:45 Propagation of uncertainties in the bathymetry to tsunami wave heights
Serge Guillas (University College London)

休憩 (15:45~16:00)

第4セッション (16:00~17:15) 司会：対馬弘晃 (気象研究所)

- 16:00 ~ 16:15 How can we confirm or refute the possibility that a submarine landslide contributed to the 2011 Tohoku tsunami?
ロバート グラー (東京大学大学院理学系研究科)
- 16:15 ~ 16:30 From Building Damage Research to Building Damage Mobile Application
Leelawat Natt (東京工業大学 大学院社会理工学研究科経営工学専攻)
- 16:30 ~ 16:45 リファレンス点を利用した沿岸部の津波水位予測に関する検討
津野 靖士 (鉄道総合技術研究所 鉄道地震工学研究センター)
- 16:45 ~ 17:00 緊急地震速報による津波シナリオ即時推定手法の構築とリアルタイム津波浸水予測に向けて
古屋 敬士 (東北大学大学院 工学研究科 土木工学専攻)
- 17:00 ~ 17:15 Planning for vertical evacuation in hotels: The case for collaborative planning
David NGUYEN (東北大学大学院工学研究科土木工学専攻)

休憩 (17:15~17:30)

第5セッション (17:30~18:45) 司会：土肥裕史 (京都大学大学院工学研究科)

- 17:30 ~ 17:45 2015年9月チリの地震にともなう遠地津波・津波注意報の学校対応
-宮城県亘理町における小・中学校の事例-
佐藤 翔輔 (東北大学災害科学国際研究所)
- 17:45 ~ 18:00 津波避難訓練の対象と内容の経年変化とその効果の比較・検証
-宮城県亘理町の3年間のデータを用いて-
戸川 直希 (東北大学 工学部 建築・社会環境工学科)
- 18:00 ~ 18:15 自動車による津波避難訓練・宮城県山元町での3年間の取組
安倍 祥 (東北大学災害科学国際研究所)
- 18:15 ~ 18:30 地震の揺れに伴う屋外への退避行動と津波避難開始の関係性に関する研究
土肥 裕史 (京都大学大学院工学研究科)
- 18:30 ~ 18:45 避難道から考える津波防災
有川 太郎 (中央大学)

2015年12月5日(土)

第6セッション(9:00~10:30) 司会: 行谷佑一(産業技術総合研究所)

- 9:00 ~ 9:15 和歌山県における津波碑の空間分布と津波避難到達指標に関する数値的検討
石橋 正信(海洋研究開発機構)
- 9:15 ~ 9:30 徳島県内の集落を例にした1854年安政南海地震津波の被害関数
行谷 佑一(産業技術総合研究所)
- 9:30 ~ 9:45 東日本大震災による人的被害の分析—詳細な空間スケールでの検討—
長谷川 夏来(東北大学)
- 9:45 ~ 10:00 慶長9年関東地方南方沖地震の房総半島での津波浸水高さ
都司 嘉宣(深田地質研究所)
- 10:00 ~ 10:15 南半球の津波を伴う巨大地震後に発生する電離圏ホール
富田 悠登(東京学芸大学)
- 10:15 ~ 10:30 Quality factorを用いた津波に対する湾水応答特性分類の試み
遠藤 貴洋(東京大学 海洋アライアンス)

休憩(10:30~10:45)

第7セッション(10:45~12:30) 司会: 馬場俊孝(徳島大学)

- 10:45 ~ 11:00 高分解能・高速サンプリング自己浮上式海底水圧計の開発とその実海域観測
対馬 弘晃(気象研究所)
- 11:00 ~ 11:15 A high resolution normal mode solution, synthetic tsunami waveform
and characterization of tsunami sources in Japan Sea
Wu Yifei(東京大学地震研究所)
- 11:15 ~ 11:30 船舶高度による大津波計測と津波予測への利用の可能性
稲津 大祐(東京大学 海洋アライアンス)
- 11:30 ~ 11:45 瀬戸内海における潮汐が津波伝播に及ぼす影響
李 漢洙(埼玉大学理工学研究科)
- 11:45 ~ 12:00 格子ボルツマン法の自由表面流れ解析の検証 - 高精度MPS法との比較研究
佐藤 兼太(東北大学大学院 工学研究科 土木工学専攻)
- 12:00 ~ 12:15 Evaluation of tsunami hazards in Marmara sea generated from
combining earthquake-landslide sources
パーノン ラチャロット(東北大学災害科学国際研究所)
- 12:15 ~ 12:30 JAGURS高度化: 初期水位分布計算の取り込みと遠地津波計算の高精度化
馬場 俊孝(徳島大学)

閉会挨拶(12:30~12:35) 関西大学 高橋智幸